

「いしかわエンゼルプラン2020」の実施状況について（概要）

資料1

施策の柱		
施策の方向性 主な施策の内容	令和3年度の主な取組（◎＝新規事業・拡充事業、○＝継続事業）	令和2年度の取組実績
結婚 1 結婚を希望する若者の希望をかなえ、安心して家庭を築くための支援の充実		
(1) 結婚を希望する若者への切れ目ない支援		
① 県、市町、企業等が一体となった結婚支援の推進	○ 「いしかわ結婚支援センター」を拠点とした官民一体となった取組の推進 ・R6年度までに県の結婚支援事業による成婚数を1,750組	⇒ 県の結婚支援事業による成婚数 1,091組(H17～R2年度)
② 結婚を希望する若者に対する出会いの機会の提供	○ 市町や企業等との連携強化に向けた「いしかわ結婚支援推進会議」の開催 ◎ 出会いの機会の仲介を行う「縁結びist」による支援 ・R6年度までに「縁結びist」を750人に拡大 ・縁結びist養成講座の開催 ・縁結びistによるお見合いにオンラインを活用(R3年9月～) ・市町結婚相談員向けのスキルアップ研修会の開催 ・「縁結びist」や「婚カフェいしかわ」相談員による市町イベントでの出張相談会の開催 ・「いしかわ縁結び応援隊」(県内若手著名人等に委嘱)による結婚支援の取組のPR ◎ 婚活イベントによる出会いの機会の拡充 ・専用サイト「いしかわ縁結びイベント」の運営 ・オンラインによる婚活イベント等の開催(R3年11月、R4年1月) ○ 結婚に関する相談支援 ・「婚カフェいしかわ」による相談 ・子の結婚を願う親向けの結婚応援セミナー、親が「縁結びist」に相談できる良縁カフェの開催 ○ 企業による結婚支援の取組促進 ・企業内に「いしかわ企業版しあわせアドバイザー」を設置し、従業員の結婚支援に取り組む企業を「いしかわ婚活応援企業」として認定し、取組を支援 ・認定企業が合同で開催する交流会のマッチング ・認定企業のうち積極的に取り組む企業を表彰	⇒ 「縁結びist」の数 575人 ⇒ 縁結びist養成講座 60人参加 市町イベントでの出張相談会の開催 4回 ⇒ 専用サイト会員数 674人(R3年3月) 「いしかわ縁結び応援隊」と連携したイベントの開催 2回、52人参加 ⇒ 相談件数 363件 「親御さん向け結婚応援セミナー」参加者 46人 ⇒ 「いしかわ婚活応援企業」の認定 232社(H28年度～R2年度) いしかわ婚活応援優秀企業知事表彰 9社(団体)(R2年度)
③ 結婚に係る経済的負担の軽減	○ 結婚予定者や新婚夫婦の経済的負担の軽減・社会全体で応援する気運の醸成 ・「石川しあわせ婚応援パスポート制度(愛称:婚パス)」の推進	⇒ 交付件数 3,829組(R3年3月) 協賛店舗数 736店舗(R3年3月)
(2) 若者のライフプランに対する意識の醸成	○ 若者のライフプランに対する意識の醸成	⇒ 大学生向け出前セミナーの開催 5回開催 参加者555名
(3) 若者への就業支援	○ 普通高校における県内先進企業と連携したキャリア教育の推進 ・普通科を有する25校を対象に、各校で企業人講話や企業訪問を実施 ○ インターンシップの促進 ・県内企業から学生にインターンシップをPRできるマッチング交流会を開催 R3年5月開催、R3年12月開催予定 ○ いしかわ就職・定住総合サポートセンターの運営 ・ジョブカフェ石川、女性ジョブサポート石川、Uターンサポート石川を一体的に運営 ・若者・女性の職業選択の支援、Uターン転職希望者の相談・県内企業とのマッチングを実施	⇒ 普通科を有する全日制高校25校で実施 ⇒ R2年6月オンラインにて実施(企業95社、学生135名参加)、 R2年12月対面にて開催(企業115社、学生398名参加) ⇒ 若年利用者数 13,455人 うち中高生5,604人(延べ95校) 女性求職者数 3,200人

「いしかわエンゼルプラン2020」の実施状況について（概要）

施策の柱		
施策の方向性 主な施策の内容	令和3年度の主な取組（◎＝新規事業・拡充事業、○＝継続事業）	令和2年度の取組実績
妊娠・出産 2 安心して子どもを産み育てるための母子の健康の確保及び増進		
(1) 妊娠から出産・育児に至る一貫した母子保健対策の充実		
① 妊娠から子育てまでの切れ目のない包括的な支援体制の充実	○ 不安や育児上の困難を抱える妊婦への助産師による支援 ・妊娠への不安や育児に対する困難を抱えることが多い若年、多胎等の妊婦に対し助産師を派遣 ・「いしかわ妊娠相談ダイヤル」の充実（電話・メールに加え、SNSを活用した相談の実施） ○ 新型コロナウイルス感染症への不安を抱える妊婦に対するPCR検査への支援	⇒ 助産師派遣 17件 電話・メールによる相談 235件、SNSによる相談 111件 ⇒ PCR検査に対する支援 885件
② 不妊に悩む方に対する支援の充実	◎ 不妊治療に対する支援の充実 ・石川県不妊相談センターによる相談 ・体外受精などの特定不妊治療 H28年4月～R2年12月 助成対象 国は「夫婦につき6回」まで、県は「出産につき6回」まで支援 ↓ R3年1月～国制度拡充 助成対象 「出産につき6回」まで支援、所得制限撤廃、事実婚も対象 助成額 初回だけでなく2回目以降も30万円を上限に支援 ・不育症の検査及びがん患者等の妊孕性温存療法についても助成	⇒ 不妊治療に対する助成 特定不妊治療 917件、男性不妊治療 4件
③ 妊娠・出産等に関する正しい知識の普及啓発	◎ いしかわプレ妊活健診の実施 ・妊娠に対する正しい知識を学び、健診と、その結果に応じた健康教育をセットで提供（R3年7月～）	
(2) 周産期・小児医療体制の充実	○ 県立中央病院の総合母子医療センターにおける医療の提供 ・ハイリスク妊産婦や高度医療が必要な新生児への医療の提供	⇒ 総合母子医療センターを手術室、小児病棟と同一フロアに配置
子育て 3 全ての子育て家庭が安心して子どもを育てることのできる環境の整備		
(1) 全ての子育て家庭への支援		
① 在宅育児家庭への支援の強化	○ マイ保育園登録制度の周知強化 ・妊娠時から概ね3歳未満の子どものいる子育て家庭が身近な保育所や認定こども園をマイ保育園として登録 ・育児体験、育児相談、一時預かり、子育て支援プランの作成などの支援を受けられる ○ 3歳未満児を持つ在宅育児家庭に対する通園に準じた保育サービスの実施 ・私立認定こども園のある15市町で体制を整備	⇒ ・マイ保育園登録率 56.8% ・子育て支援プランの作成 1,360件 ・子育て支援コーディネーターの養成 46名（累計1,759人） ⇒ 33施設で116人（延べ6,546人日）利用
(2) 幼児教育・保育サービスと放課後対策の充実	○ 資質向上に向けた研修の実施 ・保育士等キャリアアップ研修等 ・福祉総合研修センターにおける幼児教育・保育に関する研修 ◎ 認定こども園の保育教諭を対象とした研修体系に基づく研修の実施 ・「いしかわ保育・教育研修研究会」において構築した保育教諭の研修体系に基づく研修の実施（R3年10月～） ○ 保育士確保の推進 ・学生向けに保育施設の魅力や特色を照会する動画を作成し公開 ・「福サポいしかわ（福祉人材センター）」のマッチング等による潜在保育士の就業促進 ・補助者の配置支援による保育士の負担軽減 ○ 放課後児童クラブの充実 ・放課後児童支援員等を対象とした資質向上研修の実施 ・19時以降まで開所時間を延長するクラブへの人件費支援 ○ 保育所等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策に係る支援 ・保育所、認定こども園、放課後児童クラブ等における衛生用品や備品の購入等に対する支援	⇒ 福祉総合研修センターにおける幼児教育・保育に関する研修受講者数 延べ2,433人 ⇒ ・県内の保育教諭を育成する大学や東京大学付属機関などで組織する「いしかわ保育・教育研修研究会」立上げ ・保育教諭の役職や経験年数に応じた研修体系の構築 ⇒ ・学生向け説明会の開催（オンライン形式）参加者数学生等延べ155名、60施設 ・福サポいしかわの支援による就職者数 57人 ⇒ ・金沢、能登、小松地区で計15回開催 ・開所時間の延長 108か所 ⇒ 購入に対する支援 520件

「いしかわエンゼルプラン2020」の実施状況について（概要）

施策の柱		
施策の方向性 主な施策の内容	令和3年度の主な取組（◎＝新規事業・拡充事業、○＝継続事業）	令和2年度の取組実績
(3) 経済的支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳幼児医療費の現物給付方式の実施 ・19市町で現物給付実施 ○ 幼児教育・保育の無償化 ・保育所、認定こども園、幼稚園等を利用する3歳から5歳児の子ども、住民非課税世帯の0歳から2歳児の子ども保育料を無料化 ○ 多子世帯の保育料の負担軽減 ・幼児教育・保育の無償化の対象となっていない0～2歳児の保育料のうち、年収360万円未満の世帯の第2子、年収640万円以下の世帯の第3子以降の0～2歳児の保育料を無料化 ○ 多子世帯の放課後児童クラブ利用料の負担軽減 ・年収360万円未満の世帯について、第2子以降の利用料を無料化 ○ 多子世帯の病児・病後児保育利用料の負担軽減 ・第3子以降及び年収360万円未満世帯の第2子の病児・病後児保育利用料を無料化 ○ プレミアム・パスポート事業の推進 ・子どもが2人以上いる世帯を対象に、協賛企業の協力のもと、割引などの特典を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 17市町で実施 ⇒ R1年度～ 幼児教育・保育の無償化 19市町の民間保育所等256か所が対象 ⇒ H28年度～ 第3子以降の利用料を無料化 H29年度～ 第2子の利用料を無料化 ⇒ H28年度～ 第3子以降の利用料を無料化 H29年度～ 第2子の利用料を無料化 19市町で実施 ⇒ H29年度～ 第2子の利用料を無料化 10市町で実施 ⇒ 協賛店舗数 2,952店舗(R3年3月)
(4) 男性の子育て参画の促進	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 家庭における男性の子育て参画の意識啓発 ・「いしかわパパ子育て応援キャンペーン」の実施 育児・家事シェアシートの取組募集 育児・家事実践ワークショップの開催 ◎ 企業における理解の促進 ・男性従業員が子育てに参画しやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を「石川県パパ子育て応援企業」として認定 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 育児・家事シェアシートの参加家庭 115家庭、フォトコンテスト応募数 50件 育児・家事実践ワークショップの開催(5回、77名参加) ⇒ 「パパ子育て応援企業」の認定 21社
(5) 子育て支援のネットワークづくりと気運の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「子育て支援メッセいしかわ」の開催 ・子育てを支援する企業や団体が子育てに役立つ情報や体験を提供する「子育て支援メッセいしかわ」を開催(R3年11月14日開催) ○ 社会全体で子育てを支援するいしかわエンゼルマーク運動の推進 ・全ての子育て家庭を対象に子育て応援サービスを行う企業等をいしかわエンゼルマークの店として認定 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインによる開催(R2年11月22日) ⇒ 認定店舗数 1,465店舗(R3年3月)
(6) 子育てを支援する生活環境等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「赤ちゃんの駅」の登録・普及の推進 ・乳幼児を連れて安心して外出できるよう、授乳やおむつ替えなどで利用できる「赤ちゃんの駅」を登録・普及 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 県内の商業施設等325施設が登録(R3年3月)
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">子育て</div> 4 子どもの生きる力を育む教育の充実と環境の整備		
(1) 次代の親の育成		
① 乳幼児との触れ合いの機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学生・高校生による乳幼児との触れ合い育児体験 ・小学生に赤ちゃんにふれあう機会を提供する「赤ちゃん登校日」の実施 ・高校生と乳幼児とのふれあい育児体験「親子交流授業」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 新型コロナウイルス感染防止のため未実施
② 男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 若い世代を対象とした男女共同参画の理解の促進 ・大学生を対象とした男女共同参画に関するワークショップの開催 ・小学生を対象とした男女共同参画啓発副読本の作成・配布 ・中学生と高校生を対象とした企業の男女共同参画推進の取組を学ぶ企業訪問バスツアーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ ・県内大学5校、計6回開催 ・小学校5年生全児童に配布

「いしかわエンゼルプラン2020」の実施状況について（概要）

施策の柱		
施策の方向性 主な施策の内容	令和3年度の主な取組（◎＝新規事業・拡充事業、○＝継続事業）	令和2年度の取組実績
(2) 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備		
① 確かな学力の育成	○ 「いしかわ学びの指針12か条」を踏まえた授業実践や取組の推進 ・「学びの12か条+（プラス）」に基づき、学力向上プログラムを推進、学力向上フォーラムを開催	⇒ 学力向上フォーラム(R2年10月)参加者数 408人
② 豊かな心の育成	○ 高等学校における探究型学習の推進 ・探究型学習の推進に向けた指導法や評価法の確立	⇒ 大学教授等を派遣し、各校の実情に応じた指導・助言を実施
③ 体力の向上と健康の増進を図る取組の推進	○ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置 ・児童生徒・保護者・教員に対するカウンセリングを行うスクールカウンセラーの配置 ・社会福祉等の専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーの配置	⇒ ・小学校199校、中学校82校、義務教育学校2校、高校27校に配置 ・生徒指導サポーター(警官・教員OB等)18名、 生徒支援アドバイザー(社会福祉士等)12名配置
	○ 「いしかわ子ども自然学校」による子どもの自然体験活動の推進 ・個人参加型プログラム 241プログラム開催	⇒ 個人参加プログラム189プログラム 参加者3,927人
	○ 「体力アップ1校1プラン」や「スポチャレいしかわ」による児童生徒の体力向上 ・「体力アップ1校1プラン」の実践、運動プログラム「スポチャレいしかわ」による児童生徒の体力向上	⇒ 体力アップ1校1プラン:小中高329校実施 スポチャレいしかわ登録クラス数:77.5%
(3) 家庭や地域の教育力の向上		
① 家庭教育支援の充実	○ 親学び支援の充実 ・新小中学生1年生の保護者を対象に親学び冊子を配付、小中学校での親学び講座「肝心かなめの1年生塾」	⇒ 親学び講座を県内小中学校246校で実施
② 様々な体験活動の充実	○ 「学び態度」の育成 ・県内全小学校1年生の子どもを持つ保護者に対してパンフレットを配布し、啓発活動を実施	⇒ やり抜く力、協調性、自制心などの「学びの態度」を育むための家庭での取り組みに関する啓発パンフレット作成
	○ 子どもを対象とした文化体験事業の推進 ・兼六園周辺文化の森の各文化施設について、伝統芸能、伝統工芸、音楽、美術、文学、文化財保護等の文化体験事業を幅広く実施	⇒ 子どもを対象とした伝統芸能、伝統工芸、楽器演奏、芸術鑑賞、創作等の体験(延べ151講座) 参加者数5,796人
(4) 子どもの健全育成		
① 放課後児童クラブの質の向上に向けた取組支援	○ 放課後児童クラブの充実(再掲)	
② 少年非行や犯罪被害防止のための取組の推進	○ 非行少年の立ち直り支援、少年非行防止教室の開催 ・小学校低学年、高学年、中学生を対象とした少年非行防止教室「ピュアキッズスクール」の開催	⇒ 小学校低学年64校、小学校高学年65校、中学校29校で開催
③ インターネット等の適正利用の推進	○ スマートフォン等インターネットの適正な利用とその危険性に関する指導、啓発の実施 ・県内小中学生・高校生の保護者向け啓発パンフレットの作成・配布 ・PTAを中心とした情報学習会の開催	⇒ 情報学習会 県内全公立小中高等学校で実施
(5) 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実		
	○ 子どもの心のケアネットワーク体制の推進 ・子どもの心の問題に、医療・保健・教育・福祉の関係者の連携のもと支援を推進 ・子どもの心のケアネットワーク検討会の開催、事例検討会や育成セミナーの開催	⇒ 子どもの心のケアネットワーク検討会 20人参加
(6) 食育の推進		
	○ 第3次いしかわ食育推進計画の推進 ・食育に関する意識向上と望ましい食生活の実践を図るため、未就学児の保護者向け冊子の作成、高校生向け出前講座の実施	⇒ 大学生・短期大学生による高校生を対象とした食育授業の実施 実施高校数7校
	◎ 第4次いしかわ食育推進計画の策定	
	○ 地域における食育推進活動の促進に向けた地域版食育推進計画の認定	⇒ 認定数 129件(H19年度～R2年度)
(7) 子どもの安全の確保		
	○ 幼児等に対する交通安全教室の開催、交通安全指導者の養成 ・幼児交通安全教室の開催、幼児交通安全指導者養成研修会の実施	⇒ ・幼児交通安全教室 130回開催 参加者数 6,164人 ・指導者研修 3回開催 参加者数 47人
	○ 防犯まちづくりの推進 ・地域安全マップ作りの普及に向けた指導者養成研修会の開催	⇒ 地域安全マップづくり指導者養成研修 1回開催 参加者数 27人

「いしかわエンゼルプラン2020」の実施状況について（概要）

施策の柱		
施策の方向性 主な施策の内容	令和3年度の主な取組（◎＝新規事業・拡充事業、○＝継続事業）	令和2年度の取組実績
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">子育て</div> 5 社会的な支援の必要性が高い子どもや家庭に対するきめ細かな支援の充実		
(1) 児童虐待防止対策の充実		
① 虐待の未然防止 ② 関係者が連携した虐待の早期発見・早期対応	○ オレンジリボンキャンペーンによる児童虐待防止に関する意識啓発(11月) ○ マイ保育園登録制度等による子育て中の親への支援(再掲) ○ 児童相談所の体制強化 ○ 連携強化のための職種横断の実践研修等の実施 ・虐待を発見しやすい立場にある保育士や教員、医療、市町関係者を対象とした研修の実施 ○ 児童家庭支援センターによる相談支援体制強化 ・児童養護施設に児童相談所の機能の一部を代替補完する児童家庭支援センターを設置	⇒ 街頭キャンペーンの実施、「子育て支援メッセージ2020」での啓発動画の配信 ⇒ 児童福祉司の増員、児童福祉サポーターによる夜間・休日の緊急対応 ⇒ 虐待を発見しやすい立場にある市町、学校、保育所、民生児童委員それぞれに向けた個別の虐待対応の手引きを作成 ⇒ オンラインにて1回開催、参加者数 165人 ⇒ R2年5月に1施設を新たに認可(県内4施設(穴水町、金沢市、小松市、加賀市))
(2) 社会的養護体制の充実		
① 家庭養護の推進 ② 児童養護施設等における養育ケア体制の向上	○ 里親等委託の推進に向けた取組の促進 ・里親として必要な基礎知識や技術の習得を行うとともに、その素質の向上を図るための養育里親研修の実施 ○ 被虐待児など対応が難しい児童に対する処遇向上のための精神科医等による児童養護施設への訪問 ○ 職員の対応力向上のための研修参加への支援 ・より専門性の高い支援を行うため、児童養護施設職員等を対象に、資質向上のための研修の実施 ○ 児童養護施設における新型コロナウイルス感染症クラスター発生時の応援職員相互派遣体制の整備	⇒ R2年2月に開催、参加者数56人 ⇒ 児童養護施設4施設を対象に精神科医師、臨床心理士を派遣 ⇒ オンラインにて1回開催、参加者数37人 ⇒ 感染者発生時に1回派遣
(3) ひとり親家庭等の自立支援の推進		
	○ ひとり親家庭の就業支援 ・就業相談、就業支援講習会の開催 ・高等職業訓練促進給付金の支給 ・職業訓練機関で就職に有利な資格取得を目指すひとり親に対する入学準備金、就職準備金の貸付 ・ひとり親家庭の子どもの高卒認定試験の受験対策講座の受講料を助成 ○ ひとり親家庭への生活・学習支援 ・ひとり親家庭や生活困窮世帯の子どもに対する学習支援 ・放課後児童クラブ終了後や長期休暇中の居場所づくり ○ 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金の支給	⇒ ・高等職業訓練促進給付金受給者数 5人 ・入学準備金、就職準備金の貸付実績 31人 ⇒ 18市町で実施 ⇒ 受給世帯数 7,819世帯(児童扶養手当受給者及び家計急変者)
(4) 障害児等への支援の充実		
	○ 子どものニーズに応じた指導や支援 ・発達障害支援センター等による相談支援 ・特別支援学校の地域におけるセンター的機能の充実 ・生徒の就労意欲・技術の向上・定着を目指す「いしかわ版特別支援学校技能検定」の実施 ・県立学校の看護師等への専門医の巡回指導・助言による児童・生徒の医療的ケアの充実 ○ 発達障害児への支援 ・保育所の健診医等を対象とした専門研修の実施 ・関係機関における情報共有・連携の強化	⇒ ・発達障害支援センターにおける相談支援 1,972件 ・特別支援学校から地域の小中学校への専門相談員の派遣 1,366回 ・いしかわ版特別支援学校技能検定(コロナ禍により中止) ・農業分野への就労促進事業 モデル校2校 受入:9法人 実習見学 計50回 ⇒ ・保育所健診医等研修の開催 2回 参加者数 80人 ・関係機関で発達障害児の特性・状況を共有する連携手帳「ライフブック」の活用

「いしかわエンゼルプラン2020」の実施状況について（概要）

施策の柱		
施策の方向性 主な施策の内容	令和3年度の主な取組（◎＝新規事業・拡充事業、○＝継続事業）	令和2年度の取組実績
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">働き方</div> 6 仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の推進		
(1) 企業におけるワークライフバランスの取組促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般事業主行動計画の策定支援 <ul style="list-style-type: none"> ・従業員21人以上の企業に社会保険労務士を派遣し、行動計画の策定を支援 ○ ワークライフバランスに取り組む企業がPRIに活用できるロゴマークの作成 ◎ 「石川県パパ子育て応援企業」の認定(再掲) <ul style="list-style-type: none"> ・男性従業員が子育てに参画しやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を「石川県パパ子育て応援企業」として認定 ◎ 企業の男女共同参画の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画・女性活躍推進に取り組む企業を「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」として認定し、さらに具体的な数値目標を設定した企業を「女性活躍加速化クラス」として認定 ・企業における女性活躍推進の取組を後押しする講座(セミナー、事例検討会等)の開催 ・宣言企業を対象に、宣言した取組を進めるためのアドバイザーを派遣 ・業界団体向け出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 従業員21人以上の企業の行動計画策定率 40.0%(R3年3月) ⇒ 「ワークライフバランス企業登録」、「パパ子育て応援企業認定」、「ワークライフバランス企業知事表彰」の3種類作成 応募総数 197点 ⇒ ・「いしかわ男女共同参画推進宣言企業」の認定 累計562社(H24～R2年度)うち、「女性活躍加速化クラス」の認定 380社(H30～R2年度) ・女性活躍推進セミナー 参加者数33人 数値目標設定研修 3回58名参加 事例検討会 6社参加
(2) 県民のワークライフバランス実現に向けた普及啓発・取組支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育休復帰支援セミナー等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・育休復帰支援セミナー 2コース(各4回ずつ)開催 ・働く母親が仕事と育児の両立に関する悩みの共有や情報交換を行う「ワーママを楽しむ会」 5回開催 ◎ 家庭における男性の子育て参画の意識啓発(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ ・育休復帰支援セミナー 全4回のシリーズを2回開催 15人参加 ・「ワーママを楽しむ会」 5回開催 34人参加